

理事会議事録

日 時：2002年10月7日(月)
12時00分～13時00分

場 所：ワールドコンベンションセンターサミット会議室

出席者：田原，松田，郷田，大石，立松，上野，茂山，加藤，松元，黒田，山内 以上11名

欠席者：唐牛，松原，大橋，吉田 以上4名

有効委任状提出者：松原，大橋，吉田 以上3名

他に，東北大学谷口氏，愛媛大学栗木氏，名古屋大学福井氏，及び，東條事務長が参加した。

議事に先立ち，署名人を選出した

議 長：田原博人

署名人：郷田直輝，大石雅寿

報 告

1. 前回議事録の確認（資料1）
郷田理事より前回（2002年6月29日）の理事会議事録が報告され，原案通り承認された。
2. 2002年秋季年会について
茂山理事が報告を行なった。参加者集計はJTBが行なっている。懇親会への申し込み数は260を超えている。PDLは4件，ポスター発表も250件を超えている。記者会見は3件，4社の参加であった。自己推薦方式が有効だったかどうかは現状では明白ではない。一般社会に研究成果を分かりやすく伝えるという記者発表の社会的意味，方法論などについては1月の理事会でさらに議論することとした。
3. 天文学会の特定公益増進法人化について（資料2）
郷田理事が，特定公益増進法人に天文学会がなれるかどうか調査した結果に基づき，天文学会はその対象とならないことを報告した。このため，天文学会への寄付があった場合でも，寄付者が寄付金額を課税対象から控除できないことが明らかになった。
4. その他
 - (1) 日本十進分類法に関する要望書への回答について（資料3）
郷田理事が，天文学会から要望していた事項を次期改訂作業での検討課題とする旨の回答が，(社)日本図書館協会分類委員会からあったことを紹介した。
 - (2) 特許法第30条に基づく学術団体指定について
郷田理事が報告を行なった。上記学術団体への指定を申請し承認されると，天文学会で発表しても特許申請の対象となる。申請をしておかないと特許申請ができなくなる。天文学会は申請資格があるので手続きを進める。
 - (3) プレイン社の社名変更について
PASJの出版を行なっているプレイン社がページエンタープライゼス社との合併により社名変更することとなったが業務遂行への影響は全くないとの報告を郷田 理事が大橋理事の代理で行なった。

議 題

1. 新入会員の承認（資料4）
2002年6月29日から10月7日までの間の新入会員リストを郷田理事が紹介し，15名の正会員，6名の準会員及び1団体の団体会員の入会が承認された。また退会会員，移籍会員等の報告も行われた。
2. 2003年春季年会（仙台）について
東北大学の谷口氏が準備状況について報告した。3月24日(月)～26日(水)に年会を川内北キャンパスで開催する。公開講演会は3月23日(日)に仙台市との共催で行なわれる。仙台観光コンベンションセンターから補助が出る。
3. 2003年秋季年会（愛媛）について
愛媛大学の栗木氏が準備状況について報告した。9月24日(水)に記者発表。25日(木)～27日(土)に年会を行い，28日(日)に公開講演会を予定している。コンベンション助成金については会議の3ヶ月前までに申請する必要がある。
4. 記念出版事業と編集委員会に関する内規案について（資料5）
天文学会100周年記念出版事業に関わる内規案を郷田理事が説明した。質疑応答の後，一部修正の上承認され，評議員会に諮問することとした。編集委員会委員長は既に持ち回り理事会にて東京大学の岡村定矩氏に依頼することと決定している。
5. 研究奨励賞内規内定案について（資料6）
以前から継続審議している内規改訂案の改訂案を郷田理事が説明した。受賞者数を毎年若干名と改訂し，よい研究成果を挙げている若手研究者を広く顕彰することを目的としている。質疑応答の結果，原案通り承認され，評議員会に諮問することとした。これに関連する同賞記念講演会は今後行なわないこととした。賞金は1人10万円とする。
6. 若手自薦による新賞の制定について
前回の評議員会から検討を依頼された，若手自薦による新賞制定について郷田理事が説明した。同賞制定については否定的な意見が出たが，新理事会で検討を継続してもらうこととなった。
7. 民間財団等の賞の推薦方法について
郷田理事の説明に基づき，賞の推薦数を増やすための議論を行った。推薦委員会を設置する是非，理事長・副理事長が推薦者を発掘することの是非，等について意見交換を行った。さらに今後検討を継続することとした。
8. 学会各賞の英文名について（資料7）
郷田理事が学会各賞の英文名案を説明した。これは海外の研究機関のポストに応募するなどの際に必要となるものであり，評議員会から検討を依頼されている。意見は郷田理事宛てに提出することとなった。
9. その他
 - (1) ALMA計画の早期実現に関する文部科学大臣宛ての要望書について（資料10）
名古屋大学福井氏（国立天文台ALMA計画推進小委員会委員長）が天文学会から文部科学大臣宛てに上記要望書を提出して欲しいとの趣旨説明を行なった。質疑応答の結果，評議員会での承認を経た後要望書を提出することとなった。
 - (2) 次回理事会は2003年1月11日(土)に新旧合同理事会として開催することを決定した。

2002年10月23日

議 長 田原博人 印

署名人 郷田直輝 印

署名人 大石雅寿 印